

「この山の緑をまもろう」府民の森企画要旨

大阪平野が海であったころ、我々の祖先が築いた古墳群、今に残る伝説や詩歌、府民の心のふるさと生駒の山々は都市開発の勢いで年とともに土と緑を失っています。

生駒の山は土砂降りの雨に耐え洪水を食い止め人々のくらしを守ってきました。またハイキングや行楽地として人々の疲れをいやしてきました。

その山が今むしばまれつつあります。それは静かに牙をとぐ自然の姿でもあります。

ここにつくる府民の森は自然の草花や色々な樹木を植え、季節豊かにして、色々な生きものがすむ、いにしえの人たちが安らかに生駒の山に親しんだような美しい山に、そして府民を守る頼もしい山にしたい。こんな願いを込めて府民の森は作られいつまでも保存されるのです。